

<b>ジノテフラン水溶剤</b> <b>スタークル顆粒水溶剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> サンケイ*、北興、三井アグロ  <b>原体メーカー：</b> 三井アグロ
<b>成分：</b> ジノテフラン〔ネオニコチノイド系〕……………20.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩〔PRTR・1種〕…1.8%	<b>性状：</b> 淡青緑色水溶性細粒  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

## 【品目特性】……………

●果樹・野菜・水稲・茶・花きの多くの作物に使用できる。

●高い浸透移行性を活かし、レタス・非結球レタス・トマト・ミニトマト・ねぎ・キャベツ・ブロッコリー・にんじん・てんさい・にら・かんきつ（苗木）・花き類・観葉植物・つばき類では灌注処理による害虫防除にも使える。

●野菜ではコナジラミ類を始めとして、アザミウマ類、アブラムシ類などの防除に効果を発揮する。

●果樹のカメムシ類・コナカイガラムシ類・シンクイムシ類などに効果を示す。また、りんご・なし・かき・おうとう・もも・かんきつ・ネクタリン・マンゴー・ぶどう・小粒核果類・キウイフルーツ・びわには収穫前日まで使用できる。

●人畜、魚類、鳥類への毒性が低い薬剤。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

## 【薬効・薬害等の注意】……………

●ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさける。

●かんきつの苗木に用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用する。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理する。

●セル苗に使用する際は、調製液をセル成型育苗トレイ又はペーパーポット上方から灌注する。また、本剤が土壌に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさける。高温時など極度に土壌が乾燥している場合、葉緑が退色するなど薬害を生じるおそれがあるので、本剤を処理する前に適切な水分と温度管理に努める。

●共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

## 【安全対策上の注意】……………

●つまみ菜、間引き菜には使用しない。

●眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼をする。

●本剤を使用したわさびの苗をわさび田に移植する場合、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、苗に付着した土を十分に洗い落す。

●水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設から廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず適切に処理する。

●蚕に影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。

●甲殻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数																																						
稲	—	カメムシ類	2000 倍	60～ 150 ℓ	7日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 (育苗箱への処 理及び側条施 用は合計1回以 内、本田での散 布、空中散布、 無人航空機散布 は合計3回 以内)																																						
		ウンカ類 ツマグロヨコバイ	3000 倍																																											
水 田 作 物、 畑 作 物 (休耕田)	ヨシ、オギ、 ススキ、セイ タカアワダ チソウ等の 多年生雑草 が優占して いる休耕田	カメムシ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	—	3回 以内			3回以内																																					
とうもろこし (子実)	—	ムギクビレアブラムシ カメムシ類																																												
未成熟とうもろこし		アブラムシ類 カメムシ類		200～ 700 ℓ	前日 まで	3回 以内								2回 以内	4回以内 (塗布は1回以 内、散布は3回 以内)																															
も も ネ ク タ リ ン		モモチョッキリゾウムシ アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類								2000 倍																																				
お う と う		オウトウショウジョウバエ カメムシ類																																												
か き		カメムシ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ アザミウマ類																																												
マ ン ゴ ー		チャノキイロアザミウマ																																												
小粒核果類		アブラムシ類 カメムシ類 シンクイムシ類																																												
ぶ ど う		カメムシ類 ブドウトラカミキリ																																			3000 倍									
		フタテンヒメヨコバイ																																								1000～ 2000 倍				
		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類																																												
あ け び (果実)		カメムシ類																																			1000～ 2000 倍	14日 前まで	2回 以内	2回以内						
キウイフルーツ																																					前日 まで	3回 以内	3回以内							
び わ							カメムシ類 ピワキジラミ																														2000 倍		2回 以内	2回以内						

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数					
りんご	—	アブラムシ類 キンモンホソガ シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類 カメムシ類	2000 倍	200～ 700 ℓ	前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内					
なし		アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類 チュウゴクナシギジラミ											
かんきつ (苗木)		ミカンハモグリガ	50 倍	100m ℓ / 株	育苗期	5 回 以内	株元 灌注	5 回以内					
かんきつ		チャノキロアザミウマ コナカイガラムシ類 ゴマダラカミキリ	1000～ 2000 倍 1000 倍	200～ 700 ℓ	前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内					
		アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンバエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガラムシ サンホーゼカイガラムシ ミカンギジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメココバイ アオバハゴロモ	2000 倍										
		オリーブ				カメムシ類			100～ 300 ℓ	7 日前 まで  3 日前 まで  前日 まで	2 回 以内  1 回  2 回 以内	2 回以内	
		ばれいしょ				ワタアブラムシ							1 回
		かんしょ				アブラムシ類 コナジラミ類							
トマト ミニトマト		カメムシ類	2000～ 3000 倍	セル成型 育苗トレイ 1 箱又 はペー パーポッ ト 1 冊 (30 × 60cm・ 使用土壌 約 1.5～ 4.0 ℓ) 当 り 0.5 ℓ	鉢上時 又は定 植時	1 回	灌注						
		コナジラミ類						100 倍					

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
ブロッコリー	—	アブラムシ類 コナガ	100 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土壌約1.5～4.0ℓ) 当り 0.5ℓ	定植時	1 回	灌注	3 回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
は く さ い		アブラムシ類 キスジノミハムシ	2000～3000 倍 2000 倍	100～300 ℓ	3 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)
ピーマン なす		コナジラミ類	2000～3000 倍		前日まで			
		アブラムシ類	3000 倍					
		アザミウマ類 カメムシ類	2000 倍					
す い か		アブラムシ類	2000～3000 倍		7 日前まで			4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布は 2 回以内)
とうがらし類		コナジラミ類	3000 倍		前日まで			
		アブラムシ類	3000 倍					
		アザミウマ類 ナスミバエ	2000 倍					
とうがらし (葉)		コナジラミ類	2000～3000 倍		14 日前まで			3 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)
		アブラムシ類	3000 倍					
		アザミウマ類 コナジラミ類	2000 倍					
か ぼ ち や		アブラムシ類	100 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土壌約1.5～4.0ℓ) 当り 0.5ℓ	定植前日～定植時	1 回	灌注	3 回以内 (定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
に が う り		コナジラミ類	2000 倍	100～300 ℓ	前日まで	2 回以内	散布	3 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)
セルリー		アブラムシ類			14 日前まで			
う り 類 (漬物用、但し、とうがらんを除く)		コナジラミ類 アザミウマ類			7 日前まで			
		アブラムシ類	2000～3000 倍					

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数		
と う が ん	—	コナジラミ類 アザミウマ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	前日 まで	2 回 以内	散布	3回以内 (定植時の土壌 混和は1回以 内, 散布は2回 以内)		
ズ ッ キ ー ニ		アブラムシ類	2000～ 3000 倍					4回以内 (定植時の土壌 混和は1回以 内, 定植後の株 元散布は1回以 内, 散布は2回 以内)		
			2000 倍					4回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計1回以内, 定 植後の株元散布 は1回以内, 散 布は2回以内)		
き ゆ う り		コナジラミ類 アブラムシ類	2000～ 3000 倍					3 日前 まで	2回以内	
		アザミウマ類 ウリハムシ カメムシ類	2000 倍		3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計1回以内, 散 布は2回以内)					
まくわうり		アブラムシ類	3000 倍		3 日前 まで			2 回 以内	散布	2回以内
メ ロ ン		コナジラミ類	2000～ 3000 倍							3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計1回以内, 散 布は2回以内)
		アザミウマ類	2000 倍							3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は合 計1回以内, 散 布は2回以内)
		アブラムシ類	3000 倍							3回以内 (育苗期の株元 散布, 定植時の 土壌混和及び灌 注は合計1回以 内, 散布は2回 以内)
キ ャ ベ ツ		アブラムシ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	50～ 100 倍		セル成型育 苗トレイ1 箱又はペー パーポット 1冊 (30× 60cm・使用 土壌約3ℓ) 当り0.5ℓ			定植前 日～定 植時	1 回	灌注
だ い こ ん	アブラムシ類	2000～ 3000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前 まで	2 回 以内	散布	5回以内 (は種時の播溝 土壌混和は1回 以内, は種時の 全面土壌混和は 1回以内, 粒剤 の散布は1回以 内, 水溶剤及び 液剤の散布は合 計2回以内)			
	キスジノミハムシ	1000 倍		7 日前 まで			3回以内			
わ さ び	アブラムシ類 ナトビハムシ	2000 倍		畑育苗 期	3 回 以内		3回以内			
畑 わ さ び	アブラムシ類	3000 倍		3 日前 まで						
ク レ ソ ン										

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
レ タ ス 非結球レタス	—	アブラムシ類	2000～ 3000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (は種前の培土 混和は 1 回以 内, 育苗期の株 元散布, 定植時 の土壌混和及び 育苗トレイへの 灌注は合計 1 回 以内, 散布は 2 回以内)
		ハスモンヨトウ	50 倍	セル成型育 苗トレイ 1 箱又はペー パーポット 1 冊 (30× 60cm・使用 土壌約 1.5 ～4.0 ℓ) 当り 0.5 ℓ	定植前 日～ 定植時	1 回	灌注	4 回以内 (は種時の土壌 混和, 育苗トレ イへの灌注及び 定植時の株元散 布は合計 1 回以 内, 生育期の株 元灌注は 1 回以 内, 散布及び定 植後の株元散布 は合計 2 回以 内)
アブラムシ類 ナモグリバエ		50～ 100 倍						
ね ん ぎ		アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ タネバエ ネギコガ	50 倍					
		アザミウマ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前 まで	2 回 以内	散布	
		ハモグリバエ類 トビロヒョウタンゾウムシ	400 倍	0.4 ℓ / m <sup>2</sup>	生育期 但し, 収穫 14 日 前まで	1 回	株元 灌注	
		クロバネキノコバエ類 アザミウマ類	1000 倍	1 ℓ / m <sup>2</sup>				
わ け ぎ		アザミウマ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (定植後の株元 散布は 1 回以 内, 生育期の株 元灌注は 1 回以 内, 散布は 2 回 以内)
		ハモグリバエ類	400 倍	0.4 ℓ / m <sup>2</sup>	生育期 但し, 収穫 14 日 前まで	1 回	株元 灌注	
に ん じ ん		アブラムシ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前 まで	2 回 以内	散布	4 回以内 (は種時の土壌 混和は 1 回以 内, 生育期の株 元灌注は 1 回以 内, 散布は 2 回 以内)
		トビロヒョウタンゾウムシ クロバネキノコバエ類	400 倍	0.4 ℓ / m <sup>2</sup>	生育期 但し, 収穫 21 日 前まで	1 回	株元 灌注	
し ゅ ん ぎ く		アブラムシ類	3000 倍		前日 まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (は種時及び定 植時の土壌混 和は合計 1 回以 内, 散布は 2 回 以内)
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	2000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前 まで				3 回以内 (は種時の土壌 混和は 1 回以 内, 散布は 2 回 以内)
	アブラムシ類	3000 倍						
ほうれんそう		アブラムシ類 ウリハムシモドキ						

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数		
非結球あぶら な科葉菜類 (チンゲンサイ を除く)	—	アブラムシ類	3000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前 まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (は種時の土壌 混和は 1 回以 内, 散布は 2 回 以内)		
なばな類 かぶ		キスジノミハムシ	2000 倍						7 日前 まで	
だいず		カメムシ類 ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ	3000 倍		3 回 以内					
		アブラムシ類	2000 倍			2 回 以内				
あずき		アブラムシ類			2 回以内					
豆類 (未成熟。但し、 えだまめ、 さやいんげん、 さやえんどう、 実えんどう、 未成熟さざげを 除く)		アブラムシ類 ハモグリバエ類						2 回以内		
えだまめ		カメムシ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ							3000 倍	前日 まで
		アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000 倍			3 回 以内				
		未成熟さざげ			アブラムシ類 ハモグリバエ類				3 回以内 (株元散布は 1 回以内, 散布は 2 回以内)	
実えんどう さやえんどう		アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウラナミシジミ			2 回以内					
さやいんげん		コナジラミ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類						3 回以内 (株元散布は 1 回以内, 散布は 2 回以内)		
モロヘイヤ		アザミウマ類	3 回以内							
オクラ		アブラムシ類				3 回以内				
しょうが		クロバネキノコバエ類			3 回以内					
らっきょう		アザミウマ類						3 回以内		
にら		クロバネキノコバエ類	1000 倍						1 ℓ/m <sup>2</sup>	生育期 但し、 収穫 14 日前ま で
		ネギアザミウマ	400 倍	0.4 ℓ/m <sup>2</sup>						
		アブラムシ類	2000 倍		100～ 300 ℓ	2 回 以内				
アスパラガス		アザミウマ類 ジュウシホシクビナガハムシ コナジラミ類 カメムシ類		100～ 800 ℓ			前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
て ん さ い		アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ	2000～ 3000倍	100～ 300 ℓ	7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
		カメノコハムシ	1000～ 2000倍					
		テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100～ 200倍	5 ℓ / ペー パーポッ ト6冊(2.5 ℓ /m <sup>2</sup> )	移植前	1回	灌注	
		アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100～ 240倍	6 ℓ / ペー パーポッ ト6冊 (3 ℓ /m <sup>2</sup> )				
き ゆ う り (葉)	—	コナジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100～ 300 ℓ	3日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
き ゆ う り (花)					前日 まで			
バ ジ ル		アブラムシ類			3日前 まで			
しそ科葉菜類 (しそ、バジル を除く)								
しそ (花穂)		アブラムシ類 コナジラミ類						
しよくようほおずき								
食用ミニバラ								
食用カーネーション								
食用金魚草								
食用パンジー								
食用トレニア								
食用なでしこ								
食用プリムラ								
食用エキザカム								
食用せんにちこう								
食用コスモス								
食 用 ぎ く	アブラムシ類 ウリハムシモドキ	2000倍	7日前 まで	3回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)				
し そ			3日前 まで					
なんてん(葉)	アブラムシ類	2000倍	7日前 まで	2回以内				
すいぜんじな アマランサス (茎葉)			3日前 まで					
ふ き	コナジラミ類	2000倍	7日前 まで	3回以内 (土壌表面散布は 1回以内、 散布 は2回以内)				
せ り	アブラムシ類		2000倍	3日前 まで	3回 以内			
せ り (水耕栽培)						ガラス室 等の施設		
オ リ ー プ (葉)	—		カメムシ類	200～ 700 ℓ	14日前 まで	2回 以内	2回以内	



作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	
茶	—	チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカシミカメ コミカンアブラムシ	2000 倍	200～ 400 ℓ	摘採 7 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内	
さとうきび		アブラムシ類 カンシャコバネナガカメシ サトウキビチビアザミウマ		100～ 300 ℓ	45 日前 まで	3 回 以内		5 回以内 (粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及 び水和剤は合計 3回以内)	
いね科牧草		アブラムシ類			7 日前 まで			3 回以内	
花き類・観葉植物 (きくを除く)		アブラムシ類 コナジラミ類		2000～ 3000 倍	1 ℓ / m <sup>2</sup>	5 回 以内	灌注	5 回以内 (土壌混和は 1 回 以内)	
きく		ハモグリバエ類	1000 倍	散布					
		アブラムシ類 コナジラミ類	2000～ 3000 倍	100～ 300 ℓ			灌注		
		カメムシ類	2000 倍	1 ℓ / m <sup>2</sup>			散布		
樹木類 (つつじ類、 つばき類を 除く)		ケムシ類	2000 倍	100～ 700 ℓ	発生 初期		2 回 以内	株元 灌注	5 回以内 (株元灌注は 2 回 以内)
つばき類		チャドクガ	100 倍	0.5～2 ℓ / 樹(但し、 10a 当り 220 ℓ ま で)			5 回 以内	散布	5 回以内
つつじ類		ツツジグンバイ ケムシ類	2000 倍	100～ 300 ℓ					

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
かき	コナカイガラムシ類	20～40g / 樹	発芽前～ 発芽期	1 回	本剤 1g 当り 水 1 ml の割合 で混合し、主 幹から主枝の 粗皮を環状に 剥いだ部分に 塗布する。	4 回以内 (塗布は 1 回 以内、散布は 3 回以内)
ぶどう			幼果期まで 但し、収穫 30 日前まで			3 回以内 (塗布は 1 回 以内)